

## 【1 分解説】超過削減枠とは？

総合調査部 主席研究員 加藤 大典

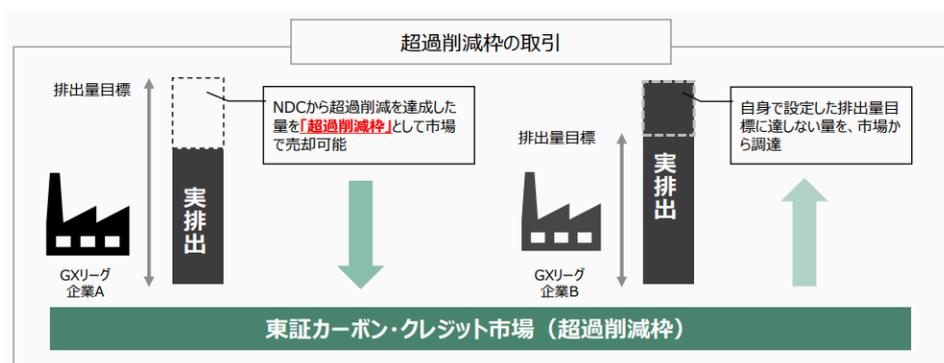
超過削減枠とは、日本のカーボンニュートラルと社会変革に取り組む有志企業の集まりである GX リーグが行う排出量取引（GX-ETS）において、Group G 企業と呼ばれる 2021 年度の直接排出量が 10 万 t-CO<sub>2</sub>e 以上の企業の排出削減量のことです。

GX-ETS は 2026 年度から本格稼働の予定ですが、2023 年度から 2025 年度までを第 1 フェーズとして現在試行中です。Group X 企業と呼ばれる 2021 年度の直接排出量が 10 万 t-CO<sub>2</sub>e 未満の企業も含め、すべての GX リーグ参画企業が排出削減目標を掲げて取り組み、第 1 フェーズの排出量総計が自主目標を達成できなかった場合には、超過削減枠や J-クレジット等を調達するか、不達成理由を説明する必要があります。

Group G 企業は、直近年度から直接・間接排出量の総量が減少し、かつ直接排出量が NDC 水準（2030 年度に 2013 年度比で 46%削減に相当する直線的な削減経路）を下回る場合、GX リーグ事務局に対して、超過削減枠の創出を申込むことができます。GX リーグ事務局により発行された超過削減枠は、カーボン・クレジット市場で売却できます。これにより、排出削減の努力と結果が経済的に評価されることとなります。

取引開始日の 2024 年 11 月 1 日は、基準値段は 1,738 円/t-CO<sub>2</sub> で売買はありませんでしたが、第 1 フェーズも半分が過ぎたところであり、今後の取引価格や売買高の推移が注目されます。

(資料)超過削減枠の取引のイメージ



(出所)東京証券取引所資料(<https://www.jpx.co.jp/equities/carbon-credit/participants/co3pgt0000001890-att/mklp77000000bc42.pdf>)より抜粋

### 関連レポート

・「脱炭素社会の実現に向けたカーボンプライシングの活用～地方創生とGX-ETSに対してJ-クレジットが果たす役割～」(2024年11月)<https://www.dlri.co.jp/report/ld/387825.html>